

4. 本時の展開

(1) 本時の目標

○物語に興味をもち、中心課題について考えながら読もうとしている。【関心・意欲・態度】

○中心課題に向けて、自身で読みの見通しをもち、それぞれのアプローチから太一の変化を読むことができる。【読】

(2) 展開

学習の流れと子どもたちの意識	指導者の役割	本時における主な評価
<p>1. 中心課題から、グループごとに今日のめあてを考え、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> グループごとに中心課題に向けて取り組もう。その③ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> アプローチ① 太一と登場人物の関係を相関図に表して考えよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> アプローチ② 「海」について調査したことを文章中の表現とむすびつけよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> アプローチ③ 「山のいのち」との共通点から、作者のメッセージ性をつかもう。 </div> </div> <p>2. 今日のめあてをふまえて、中心課題「どうして太一はクエをうたなかったのか」について1人で考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 以前に学習した人物相関図を思い出しながら、まとめてみよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 海にはいろいろな顔があるのかもしれないね。どうして海が舞台なのか？ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 両方の作品に、食べて食べられるという命の話が出てくるよ。 </div> </div> <p>3. 今日のめあてをふまえて、グループで考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> クライマックス中に太一のクエに対する見方が変わっているような気がするよ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 「海」は、いろいろな生物が過ごし、「いのち」を育んでいく場だよ。だからこの話は海がふさわしいね </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 命めぐりに人がどう関わっていくのか？ということを作者は伝えたいんじゃないかな。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 変化にはおとうと、与吉じいさの考え方が影響しているね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 「母なる海」という言葉もあるよ。昔から、海は命の源と言われていたよ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 山のいのちも、海のいのちも、三世代に渡るはなしだね。 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 大きく壮大な海を感じられた太一は命の源であるということはもう心では感じられたのかもしれないね </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 父も、じいさも海に帰っていったという、見方が中心課題について大きなヒントになると思うな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 海のいのちの冒頭に書かれているように、人は世代を超えてずっと、自然の中で生かされていることも伝えたいのかも。 </div> </div> <p>4. グループごとに今日気がついたことを一言で発表する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 人は海で生き、海に帰る </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 壮大な海 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 命めぐり </div> </div> <p>5. まとめとして、国語感想を書き、次の時間の見通しをもつ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 中心課題に向けて今日は自分なりの結論を導くことができたぞ。次は他のアプローチから物語を読んでいる人の話も聞いてみたいね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 他のアプローチから読んでいる人の言っていた「気づきの一言」はどういう意味なんだろう。次回もっと深く、直接聞いてみたいよ。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 複雑な心情の中、太一が出した結論を読み解くことで、自分も大人の考え方に近づくのかな。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の国語感想での記述を振り返らせることで、本時でのめあてをグループごとに考えられるようにする。 ・既習の学習方法を思い返させ、(人物相関図や、イメージマップなど)自身の力で読み解けるよう声をかける。 ・アプローチ①については、クライマックス前と後や、人物の関係の時間など、時系列に注目してまとめることにより太一の変化とそのきっかけについて考えられるよう声をかける。 ・アプローチ②については「海」についての印象を文章中の記述と照らし合わせ、太一の海にたいする見方の変化に気づかせたい。 ・アプローチ③については、2つの物語の共通点から、作者の伝えたいメッセージ性を感じ、それを元に中心課題について考えられるよう支援する。 ・本時の学習の気づきをまとめ、次時での活動の見通しや、中心課題へのアプローチの元となるようなことを書きとめておくよう声をかける。 	<p>【関心・意欲・態度】 物語に興味をもち、中心課題について考えながら読もうとしている。</p> <p>【読むこと】 中心課題に向けて、自身で読みの見通しをもち、それぞれのアプローチから太一の変化を読むことができる。</p>